

総合学科1年次「ライフプラン作文発表会」を実施
～茨城県教育研修センター指導主事2名に見学していただきました～

3月8日（金）6時間目に、総合学科1年次の生徒約180名が参加して、ライフプラン作文発表会を実施しました。茨城県教育研修センターの教職教育課の指導主事の海崎昌幸様・宇田川映様に見学していただきました。

総合学科1年次では、「産業社会と人間」の年間の学習のまとめとして、2月に、将来やりたいことや就きたい仕事を考えて、それに向けて何が必要か、高校生活をどのように過ごしていく必要があるかなどについて作文を書きました。その作文をもとに、各クラス2名が、発表内容にあわせて自分で資料を作成してプロジェクターで写して発表しました。発表を聞く生徒は、各発表後に「産社ノート」に感想を記入しました。

発表後に、海崎昌幸指導主事、中村雅美1学年・年次主任が講評してくださいました。

放課後の研究協議では、1学年・年次の先生が参加して、ライフプラン作文発表前後の生徒の変容や、今年度のキャリア教育の研究に取り組んだ成果と課題、次年度への取り組みなどについてグループで話し合いをして、各指導主事からアドバイスをいただきました。

【講評 海崎昌幸 指導主事】

発表会をみんなで創り上げていこうという気持ちを感じました。高校時代は、夢と現実を重ね合わせていく重要な時期です。作文を書くことで、現実を理解した上で、将来へつながる道を見つけられると思います。自分自身と対話して、自分の好きなことを見つけて、自分の適性を理解してください。

ここからがスタートです。自分の目標・夢の実現に向かって、まずは行動することが大切です。うまくいかないこともあるかもしれませんが、試行錯誤したことや、失敗したことにも価値があります。

今を大切に何事にも前向きな気持ちでチャレンジしてください。迷った時は、ライフプラン作文や産社ノートを見て、振り返って、目標をもった最初の気持ちや考えたことを確認するとよいです。

【講評 中村雅美 1学年・年次主任】

作文を発表したみなさんは、自分の気持ちをしっかりと伝えられたと思います。発表を聞くみなさんの態度もとてもよく、自分の将来についてしっかりと考える機会になったと思います。

どんなことでも目標を実現するためには、まずは情報収集が大切だと思います。私は、英語が好きで、高校生の頃、将来、英語を使った仕事に就きたいと思っていました。現在、高校の英語の教員として、とてもやりがいを感じて過ごしています。しかし、インターネットで調べてみると、英語を使ったいろいろな仕事があります。私自身、英語を使った仕事の情報収集をして、選択肢を広げた上で、英語の教員を選べるとさらによかったと思っています。

みなさん一人一人が作文に書いた自分の目標の実現に向かって努力してください。がんばりをお互いが認め合って、うまくいかない人がいる時は応援して、学年の仲間意識・団結力を高めてもらいたいと心から願っています。

～ライフプラン作文発表会のようす～



発表者 10名（各クラス2名）



進行 4組小貫さん・保岡さん



タイムキーパー
7組 貝塚さん・河野さん



発表会のようす



発表① 7組 小沼美月さん



発表② 6組 佐藤 輝さん



発表③ 7組 堀田陽向さん



発表④ 5組 土子真穂さん



発表⑤ 4組 石崎直樹さん



発表⑥ 6組 菅谷玲那さん



発表⑦ 3組 大越遥真さん



発表⑧ 4組 菅谷優太さん



発表⑨ 5組 方波見涼太郎さん



発表⑩ 6組 藤岡理人さん



指導主事 海崎昌幸様・宇田川映様



発表を聞く生徒



「産社ノート」に記録する生徒



講評 海崎昌幸 指導主事



講評 中村雅美 1学年・年次主任



放課後 研究協議のようす



グループで話し合い